

全国学力・学習状況調査の結果概要

■調査実施日	令和 6 年 4 月 18 日 (木)		
■対象学年	○奈井江小学校 第 6 学年 26 名	○奈井江中学校 第 3 学年 23 名	
■教科	○小学校 ⇒ 国語・算数	○中学校 ⇒ 国語・数学	

■教科に関する調査結果

○奈井江小学校

全道平均比較	国語	算数
高い	「我が国の言語文化」	—
同じくらい	「読むこと」「書くこと」 「言葉の特徴や使い方」 「情報の扱い方」	—
下回る	「話すこと・聞くこと」	「数と計算」「データの活用」
大きく下回る	—	「図形」「変化と関係」

◇調査結果から見える傾向

◆国語

国語は全般にわたって得意です。中でも「話し言葉と書き言葉の違いに気づくこと」「読書の意義」をしっかりと捉えています。目的や意図に応じて話題を決め、検討することが苦手です。

◆算数

算数全般が苦手です。特に「図形（円柱・角柱・球）」や「速さ（道のり・時間の関係）」の問題が苦手です。

○奈井江中学校

全道平均比較	国語	数学
高い	「情報の扱い方」	—
同じくらい	—	—
下回る	「書くこと」「読むこと」 「言葉の特徴や使い方」	—
大きく下回る	「話すこと・聞くこと」 「我が国の言語文化」	「数と計算」「図形」「関数」 「データの活用」

◇調査結果から見える傾向

◆国語

「意見や根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係への理解」は得意ですが、それ以外の国語全般は苦手です。特に必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることが苦手です。

◆数学

数学全体が苦手です。特に「確率」「関数」「与えられたデータの活用」の問題が苦手です。

国立教育政策研究所のホームページには、問題・正当例・解説が掲載されています。家庭学習や長期休業中に苦手なところの克服に向けて再チャレンジしてみましょう！



■質問紙調査より

○奈井江小学校

【家庭での生活・学習習慣調査】

■全道平均より大きく上回る

- ・ 1 日に 3 時間以上携帯・SNS をしている

■全道平均より高い

- ・ 朝食を毎日食べている
- ・ 同じ時刻に起きている

■全道平均より低い

- ・ 普段から 1 時間以上勉強する

■全道平均より大きく下回る

- ・ 家にある本の数（25 冊以下）
- ・ 新聞を読んでいる

1 日におけるスクリーンタイムが全道平均より大きく上回っており、勉強時間も少ない傾向にあります。携帯等の使用のルール作りや学習習慣の定着、日々の学習内容の習熟など、家庭での声かけや見守りが必要です。また、家庭における読書（新聞含）習慣も低い傾向にあります。本や新聞を読むことは、知識教養、語彙力・読解力、想像力・表現力の向上につながりますし、子どもだけではなく、大人もスクリーンタイムを減らし、家族で読書を楽しむ時間を持てただけたらと思います。

一方で、朝食を毎日食べる、同じ時刻に起きるといった生活規律については全道平均より高い傾向にあります。規則正しい生活は、子どもの健康、学習意欲等に大きく影響します。年齢が上がるにつれ、生活リズムが崩れる傾向も見られますので家庭内において、引き続き、規則正しい生活習慣を心掛ける必要があります。

【生活意識の傾向】

「普段の生活が幸せ」が高く、日々の生活が充実している反面、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」が低い傾向にあります。日々の生活の中で、目標意識や自己有用感が育つ声かけや関わりが必要です。

また、「学校に行くのが楽しくない」も高く、みんなでその理由の背景を探り、解決していくこと、孤独を感じさせないことが大切です。

○奈井江中学校

【家庭での生活・学習習慣調査】

■全道平均より大きく上回る

- ・ 1 日に 3 時間以上携帯・SNS をしている

■全道平均より高い

- ・ 同じ時刻に起きている

■全道平均より低い

- ・ 同じ時刻に寝ている
- ・ 普段から 1 時間以上勉強する

- ・ 分かった点、分からなかった点の見直しを次の学習につなげている

- ・ 授業で学んだことを他の学習で活かしているか

■全道平均より大きく下回る

- ・ 家にある本の数（25 冊以下）
- ・ 新聞を読んでいる

ほぼ、小学生と同様の傾向にありますが、起きる時間が定着している一方で、寝る時間については定着していない傾向にあり、スクリーンタイムが大きく上回っている要因もここにあるのかもしれませんが、家庭内における規則正しい生活リズムの定着が必要です。

また、1 日の勉強時間も少なく、学習意欲も低い傾向が見られます。競争意識が育ちににくい環境に課題があるのかもしれませんが、自分の将来を想像し、チャレンジしていく心、計画的に行動する力を育てていく必要があります。

【生活意識の傾向】

「普段の生活が幸せ」「自分には良いところがある」「人の役に立つ人間になりたい」が低い傾向にあり、日常に感じる幸福感や自己有用感が育つ声かけ、関わりが必要です。

また、小学生同様、「学校に行くのが楽しくない」も高く、理由の背景を探り、解決していくこと、孤独を感じさせないことが大切です。

一方で、「将来の夢や目標を持っている」が高いので、夢や目標の実現のために、自らがどのように行動する必要か、計画性を持ち、実行する力を育むこと、周りの大人が夢を持つ子どもたちを応援・サポートしていく環境をつくることも大切です。

家庭学習の目標時間 ○小学校 学年×10 分 + α ○中学校 (学年×10 分) + 60 分

●ご家庭へのお願い

～昨年も同様のことを掲載しましたが、大切なことなので今年も同じことを掲載します～

子どもたちの生活基盤は『家庭』です。子どもたちにとって、“自分の育った家庭が社会の縮図”になります。「学校」も「その他の活動」も、家庭があつての居場所です。まず、子どもたちの核となる『家庭づくり』を第一に考えてください。

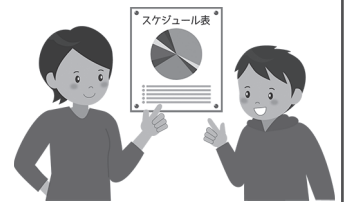
◆教育の主役は、「子ども」と「保護者」！

教育は「子どもファースト」であるべきです。

そして、保護者は子どもを守り支える唯一の存在です。学校・行政・地域は、「地域の宝」である子どもたちを、共に守り育てていくパートナーではありますが、家庭でしかできないことがたくさんあります。今一度、家庭での教育について、考えていただきたいと強く思います。

◆正しい生活習慣を！

子どもの健やかな成長には、規則正しい生活習慣が基本です。子どもたちが夢や目標を持ち、自立していくためにも、「早寝早起き朝ごはん」「ゲームやインターネットのルールを決める」など、1日の時間を大切にすることを意識することが大切です。



◆失敗は必要なことです！

みなさん、“子どもが失敗しないように、傷つかないように”と先回りをし、障害物を取り除いていませんか？

今は小さい子どもたちも、いつか大人になり、巣立たなければなりません。その時に、失敗した時の立ち直り方を知らなかったら…。

小・中・高校生時代、保護者が傍にいてあげられる時に、失敗を見守り、自分の力で解決することができる自信をつけさせてあげることが、とても大切なことです。

子どもが自分で立ち上がった時、もしくは、立ち上がれなかった時、結果ではなくその過程を認めてあげることで、子どもは大きく成長していきます。

●行政の取り組み

◆公設塾「ななかま」対象を中学生まで拡大！！

ー 12月3日（火）プレ開塾実施（本開塾：令和7年4月予定）ー

小学生対象の公設塾「ななかま」開塾から4年目を迎え、奈井江町の子どもたちの学習や生活習慣の課題を少しでも解決できるよう、通塾対象の学年を中学生まで拡大します。

本格的な開塾は、令和7年からを予定していますが、開塾内容等の検討のため、本格開塾前に中学2・3年生を対象に下記の内容でプレ開塾を行います。

【プレ開塾内容】

- 対象 中学2・3年生（中1：本格開塾から通塾可能）
- 開塾日 火曜日～土曜日（日、月、祝日は休み）
（学年に応じて開塾時間が異なります）
- 時間 平 日 16時～19時
土曜日 9時～12時
冬休み 13時～16時
- 費用 無料
- 内容 自学習のサポート
〈Qubena（キュビナ）・プリント活用〉
週1回、身体を動かすリフレッシュ時間を設けます。

◆開塾日

- 中学3年生
12月3日（火）～3月7日（金）
- 中学2年生
①12月3日（火）～12月5日（木）
※テスト前
②1月7日（火）～2月21日（金）



「ななかま」
ホームページ



「ななかま」
Instagram

◆夏冬休みの「朝カツ！」

なかなか開設を契機に、奈小全校児童生徒を対象に、学習サポートに加え、通常の放課後学習時間ではできない知的好奇心をくすぐる特別活動を行っています。小学校6年生には、中学進学を見据え、中学校と連携した部活動体験も行っています。朝カツで過ごす時間が、単なる暇つぶしの時間ではなく、目的をもった有意義な時間になるよう、時間割を作成しています。

現在、冬休み「朝カツ」の参加申込受付中です！

今年の冬も、“心も体も健やかに” いろいろな体験をしましょう！

◆AI教材「Qubena（キュビナ）」導入！

令和5年度から、小中学校で子どもたち一人ひとりの学習進度に合わせた「個別最適な学び」「主体的・自律的な学び」を促すタブレット版教材として、AI教材「Qubena（キュビナ）5教科」の本格導入を行っています。

学校での活用は、学校により異なりますが、1人1台端末を活用して、AIが個人の習熟度を判断し、過去の学年の苦手分野まで遡って復習したり、逆に、得意な教科は、学年関係なく先に進むことも可能です。使えば使うほど自分の教材としてカスタマイズされ、繰り返し使うことで自分オリジナルの教材に仕上がり、より効率的な学びが可能になります。公設塾「なかなかま」でも、本教材を活用した学習を実施していますし、別途家庭で購入していた教材もスリム化が可能です。

せっかくの教材ですので、どんどん活用してください！

◆夏冬休み前の「親学セミナー（兼朝カツ説明会）」

「ご家庭へのお願い」でも触れましたが、“子どもたちの生活の基本は家庭”です。そこで、長期休業前に朝カツ説明会を兼ねた家庭向けのセミナーを年2回開催しています。

家庭が抱える悩みなど、解決できることは少ないかもしれませんが、アドバイスや情報提供、保護者間の交流の場として定期的に開催しますので、ぜひご参加ください。

●冬休み前の「親学セミナー（兼朝カツ説明会）」

○日時 12月19日（木）18時～

※朝カツ説明会 19時30分頃

○内容 映画「ママをやめてもいいですか？」上映会

※上映会終了後、朝カツ説明会実施

○対象 認定こども園・小中学校保護者 ※託児あり ↑申込はこちらから



◆これからも・・・

行政にできることはごく一部ですが、これからも「教育の主演である子どもたち」を思い、「学校」「家庭」「地域」と協働し、子どもたちをサポートしていきます。

○問い合わせ

教育委員会教育支援係（公民館内）

☎ 65 - 5381

●地域全体で考える！

◆「奈井江町学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」の取り組み

協議会では、学校における課題や今後の学校運営について検討を進めています。

現在の検討事項～スクリーンタイム減少への取り組み、小中9年間の学び：今後のあり方

◆中学校部活動地域移行等の検討を進めていきます！

文部科学省より中学校の休日の部活動の地域移行を令和7年度末までに、平日の部活動の地域移行も令和8年度以降順次進めるよう示されています。当町も今後「奈井江町部活動地域移行検討委員会」において検討を進めていきます。

○問い合わせ

教育委員会文化振興係（公民館内） ☎ 65 - 5311